

01

持続的な成長と 中長期的な 企業価値の向上

Contents

- 21 経営企画部長メッセージ
- 22 中長期経営戦略
- 26 市場運用
- 29 重点ビジネスサマリー

経営企画部長 メッセージ

「ROE向上のため、持続性のある 質の高い利益を創出していきます」

株式会社 北國フィナンシャルホールディングス
常務執行役員 経営企画部長

寺井 尚孝



当社では2021年より中長期で目指すべき水準、戦略、取組み方針を毎期アップデートしています。それは、社会・市場環境の変化をスピーディーに捉え、これらの前提となる外部環境を示した上でアップデートすべきとの考えのもと実施しています。昨年からの主な変更点として、能登半島地震の影響により、2024年3月期および2025年3月期の計画を下方修正しました。一方で物価の上昇や日銀によるマイナス金利見直し等を踏まえ各事業のブラッシュアップを行い、ROE8%の達成時期を前倒して2029年3月に設定しました。

2024年6月末時点で、当社のPBRは1倍を割る水準で低位推移しています。PBRが0.5倍前後となっている主な要因は、ROE（2024年3月期 4.1%）について当社が考える資本コスト6~9%を下回っているためと考えています。これに対し、株主還元や政策保有株式の削減といった「株主資本コントロール」、重点ビジネスの推進や新たな収益エンジンの創出等「利益の質の向上」によるROEの向上、ガバナンスの高度化や株主の皆さまとの積極的な対話と情報開示による「資本コスト抑制」の施策に取り組むことでエクイティスプレッドをプラスに転換し、企業価値（PBR）の向上を目指します。

「株主資本コントロール」について具体的には、これまで通り総還元性向を50%以上とする株主還元策を維持しつつ、更なる収益機会を逃さぬようリスクテイクのための資本増強も同時に進めます。連結の自己資本比率を9%~10%前後に保ちつつ、有価証券運用、エクイティ投資を増加させるリスクアセットを計画しております。また、2025年3月期までに政策保有株式の投資簿価を半減にする計画については1年前倒しで達成し、保有残高ゼロに向けた取組みを継続し早期実現を目指します。

「利益の質の向上」に関しては、長期にわたり持続性のある利益の創出に向けて、これまで取り組んできた重点ビジネスをグロースさせるほか、新高度化会社による新しい事業を立ち上げ、質の高い利益を積み上げていきます。残念ながら2024年3月期は、重点ビジネスの収益計画の未達や先行投資によるコスト増加といった結果となりましたが、施策のブラッシュアップのスピード感と実行時の問題解決力は高まってきていることが

ら必ず計画が達成できると確信しております。

「資本コスト抑制」では、ガバナンスの高度化として、執行と監督の分離の実効性向上のため取締役会議長、指名報酬委員会委員長を社外取締役に交代しました。中長期目線での価値創造、ROE8%達成に向けた取締役会での闊達な議論が期待されます。投資家の皆さまからの要望が多かったサクセッションプランも策定し、実行に向けた取組みを進めていきます。主要ポストの人材要件を定め、候補者プールの設定、後継者の育成に取り組み、企業の持続的発展に繋がりたいと考えます。当社は、ビジネスにおいては「対話」を最も重要視しており、年間50回以上の代表取締役社長と機関投資家の皆さまとの1on1ミーティング、個人投資家様向けにはオンライン説明会をおこなっております。投資家の皆さまからの意見を真摯に受け止め、社内外の情報開示と利益の質向上に向けたビジネスプロセスの見える化を一層推し進めることが、健全で前向きな企業文化を定着させ、アジャイル組織の進展、顧客起点の徹底、リスク管理にも大きな効果をもたらすと考えております。透明性のある情報開示を徹底し、今後とも様々なカウンターパーティの皆さまとの対話を深化させ、持続可能な発展を支える強固なガバナンス体制に向けて磨きをかけていきます。

また、環境に関する取組みについては、これまで地域のリーダー企業として、持続可能な社会の構築に寄与するべく様々な取組みを実施してきました。今後は、地元の自治体や他金融機関などと連携し、当地の事業者様を含めた地域全体のプロジェクトとすることで当地のGX（グリーントランスフォーメーション）推進に向けたリーダーシップを発揮していきます。これらの様々な取組みを支えるのは人であるとの考えのもと、「人材ポートフォリオ」の最適化に向けて中長期での取組みに着手し、多様なプロフェッショナル人材の採用と育成に力を入れています。

今後もコミュニケーション・コラボレーションによるイノベーションの創出、中長期的な企業価値の向上を図り、ステークホルダーの皆さまのご期待に応えられるようグループ社員一丸となって邁進してまいります。